

## 第5学年2組 道徳科学習指導案

指導者

令和7年12月11日(木) 第4時限 5年2組教室

- 1 主 題 目標に向かって進む〔A－(5) 希望と勇気、努力と強い意志〕
- 2 教 材 新幹線開発物語(教科書P126～131)
- 3 主題設定の理由

### (1) 価値観

「希望と勇気」とは、目標達成に向けて粘り強く努力する強い意志であると同時に、周囲に理解されず、失敗の重圧に押しつぶされそうになる困難な状況下で、未来を信じて一步を踏み出す創造的な精神である。

高学年の発達段階においては、希望や夢をもつことは理解できているが、それを実現する過程で失敗を恐れたり、周囲に反対されたりして困難に直面したときに、挑戦し続ける勇気を持ち続けることの重要性を十分に理解できていない。そこで、平和への希望という強い信念をもって粘り強く行動し続けた開発者の姿を学ぶことは、児童が自己の限界や困難に立ち向かい乗り越えようとする実践力を養う上で、重要であると考え。

### (2) 児童観

事前アンケートによると、本学級は、鉄道に興味があると回答した児童は約半数で、60年前の開発秘話についても、約半分の児童が興味はあると回答した。また、開発に携わる担当者の話が聞けるとしたら、楽しみか聞いたところ、8割以上の児童が楽しみと回答した。

しかし、「開発の裏でどんな苦労や困難があったかを考えたことがあるか」のアンケートでは、8割の児童が考えたことがないと回答した。そこで、ゲストティーチャー(以下GT)として開発に携わった方を直接招き、教材に関する内容に現実味をもたせながら児童の思考を深めさせたい。そして、児童とGTが対話をする中で、新幹線開発者たちが多数の困難に立ち向かい、粘り強い勇気と熱い思いで乗り越えることのできる児童を育成したい。

### (3) 教材観

本教材は、東京と大阪を7時間半で結んでいた時代に、時速200km超という「夢の超特急」に挑んだ技術者の記録である。特に、開発を主導した三木忠直氏の開発に対する熱い思いが、この挑戦の根幹にある。開発を進める上で直面する多数の困難や重圧に立ち向かい、粘り強い勇気と熱い思いで乗り越えることの大切さを考える上で、適した教材である。

指導にあたっては、GTからの話を通じて学習への関心を高めつつ、児童が自分の夢を叶えるために待ち受けている困難について考え、問題意識をもてるようにする。展開では、教師による範読を聞かせた後、それぞれの場面で登場人物の心情に加え、自分自身の心情を重ね合わせて深く考えさせる。さらに、GTからの現場のリアルな話や、困難を乗り越えた実体験を聞くことで、児童の考えを開発者の考えと照らし合わせ、そのズレを補正し、困難に立ち向かうための前向きな考え方に触れるようにする。最後に、話し合った内容の中から最も大切だと思う考えを絞り、多様な考え方を収束させるよう促す。授業を通して学んだことを日常生活と結び付けて振り返らせ、夢や目標の実現に向けた意欲を醸成できるようにする。

## 4 指導計画 1時間完了

## 5 本時の指導

### (1) 本時のねらいと評価

困難があってもくじけずにやり抜くことの大切さに気づき、目標に向かって努力し続けようとする実践意欲と態度を育てる。

【評価】(ワークシートの記述内容)

どんな困難に遭遇しても、目標や希望をもって粘り強く取り組み、乗り越えようとする気持ちを述べている。

### (2) 準備・資料

教師 場面絵 ワークシート タブレットPC

児童 タブレットPC

### (3) 関 連

本教材では、困難に直面しても、強い希望を勇気の源とし、粘り強く目標に挑戦することの大切さに気づかせ、熱い思いをもって乗り越えることのできる児童の育成をねらいとする。そして、「東の羽生、西の村山(村山聖)」では、主人公が名人に挑戦することをあきらめなかった気持ちを考えることで、くじけずに努力することのできる児童の育成をねらいとする。

(4) 指導過程    本時の学習課題    ◇ 主な発問    ◆ 中心発問    補 補助発問

| 学 習 活 動                        |    | 指 導 の 手 だ て  |
|--------------------------------|----|--|
| 入                              | 1  | 1 GTの紹介を聞く。  |
|                                | 3  | 2 本時の学習課題をつかむ。<br>(1) GTに対する印象を聞く。<br>◇ 増元さんの仕事の話聞いて何を感じましたか。<br>・ すごく楽しそう。<br>・ みんなのために働いてすごい。<br>1 (2) 教材の内容を確認し、GTの心情変化のメーターを見て、学習課題をつかむ。   |
| 三木さん・増元さんは、どのように困難を乗り越えたのだろうか。 |    | ○ GTに自己紹介をしてもらう。<br><br>○ 児童の予想を発表する場を設定し、価値への導入を図ることで、問題意識をもつことができるようにする。<br><br>○ 教材は事前読みしておく。<br>○ それぞれの場面で、自分だったらどんな心情になっているかメーターを入力させておく。<br>○ GTからは、これまでの困難を乗り越えてきたことを短く話してもらい、開発に関して希望にあふれていることを語ってもらう。   |
| 展                              | 10 | 3 登場人物とGTの心情について話し合う。<br>(1) 教材のそれぞれの場面で、GTの心情について考える。<br>◇ 増元さんは、それぞれの場面でどんな心情にいるでしょう。<br>・ 熱い思いはあるが、困難が多くて苦しそう。  |
|                                | 10 | (2) GTから生の声を交えながら困難を乗り越える上での心情について考える。<br>◇ 増元さんの場合、どのようにして困難を乗り越えるでしょう。<br>・ 大変なことがあっても諦めずに研究に取り組む。   |
| 開                              | 15 | 4 実際に困難に直面した時に、それを乗り越えるために必要な考え方について話し合う。 【個→斉】<br>◆ 困難に直面した時、どんな気持ちや考え方をもてば乗り越えられますか。<br>・ 前向きに考える。<br>・ 乗り越えられる！と思って取り組む。  |
|                                |    | ○ GTには、各場面で児童の発言を聞いた後、GTの立場からその現場のリアルな話をしてもらうことで、困難が多いことに気付かせる。(内容と現実のズレ)<br>○ GTからの発言を聞いた後に、再度児童が話し合う時間を設ける。<br>○ GTには、児童の考えに対する率直な思いを語ってもらう。新幹線開発に絡めて、他部署との密な連携がいることや時間がかかることを踏まえつつ、「人を運ぶ仕事だが、人の夢も運ぶ」素敵な仕事であること等を話してもらう。(子どもの考えと開発者の考えのズレ補正)<br>○ 思考ツール(キャンディーチャート)を活用し、自分の考えを分析する。<br>○ 多様な考え方に触れられるように、考えを発散させる。<br>○ 補助発問で、考えの収束を促す。<br>補 どの考え方をすれば、困難を乗り越えられますか。 |
| 終末                             | 5  | 5 今日の授業で学んだことを振り返る。 【個→斉】<br><br>○ 日常生活を振り返らせ、本時の学習内容と結び付けて書くように伝える。<br>★評価の場面   |

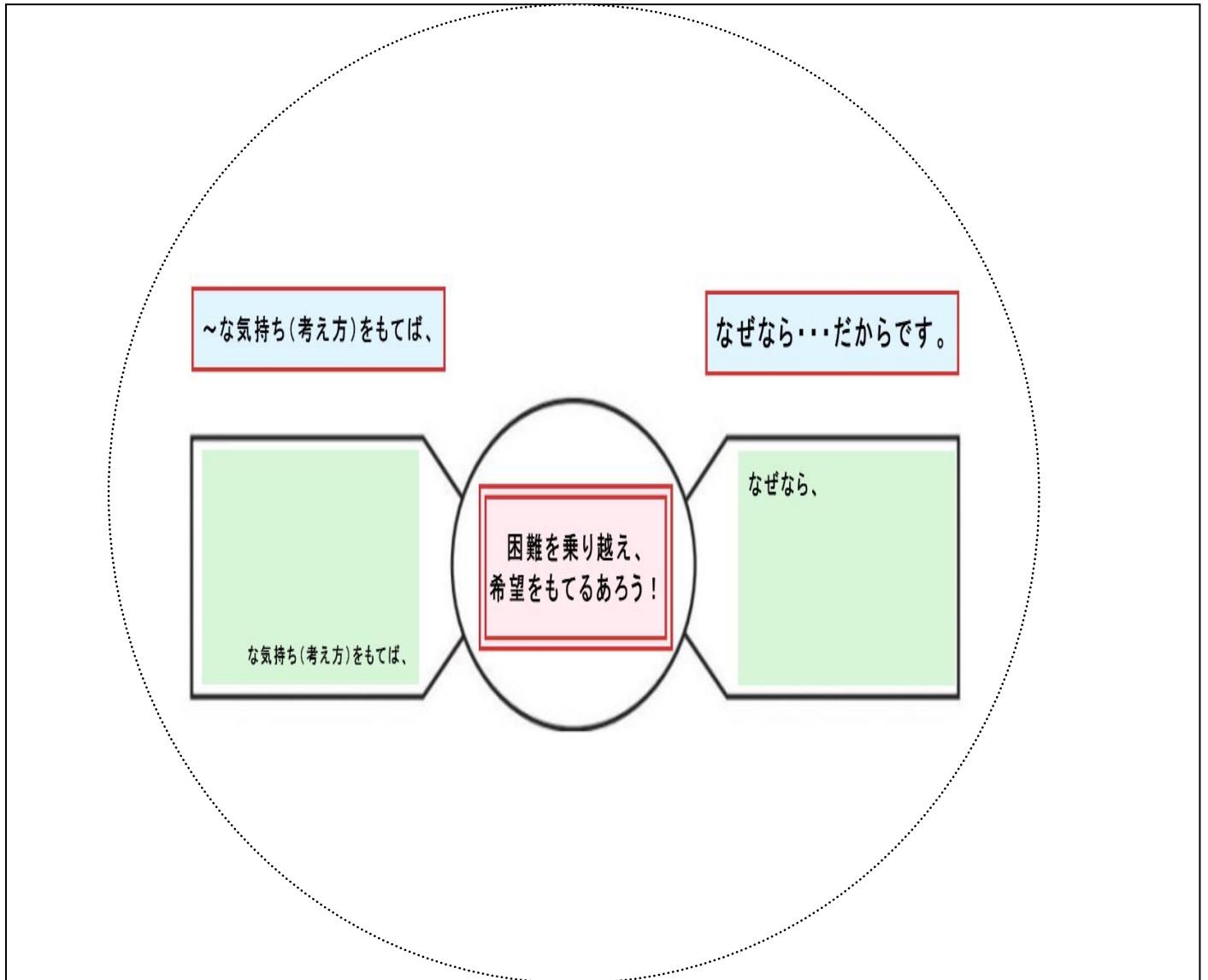
6 反 省

7 高 評

## ◆道徳授業ワークシート教材名『 27 新幹線開発物語 』

5 年 組 番 氏名 ( )

## 心のつづき



| 今回の授業を終えて            |   | とても ← ふつう → ぜんぜん |   |   |   |  |
|----------------------|---|------------------|---|---|---|--|
| ①共感や感動することがあったか      | 5 | 4                | 3 | 2 | 1 |  |
| ②深く考えることができたか        | 5 | 4                | 3 | 2 | 1 |  |
| ③自分のこれからの考え方に影響はあったか | 5 | 4                | 3 | 2 | 1 |  |
| ④考えたことを大切にしていこうと思えたか | 5 | 4                | 3 | 2 | 1 |  |
| ⑤教材は心に響いたか           | 5 | 4                | 3 | 2 | 1 |  |

